



**GIBBSCAM 2024** CAM for  
Production Machining

バージョン2024 : 2023年10月

---

CoroPlus工具ライブラリ(CPTL)プラグイ  
ン



# 目次

---

はじめに .....	3
<hr/>	
COROPLUSの基本 .....	4
Sandvik Coromant社について .....	4
CoroPlusについて .....	4
CoroPlus工具ライブラリについて .....	4
設定 .....	4
<hr/>	
CPTLプラグインを使用する .....	6
基本事項 .....	6
工具インポーターダイアログ .....	8
CoroPlus工具ライブラリインポーター:メインダイアログ .....	9
CoroPlus工具ライブラリインポーター:クイックビルドウィンドウ .....	10

# はじめに

本マニュアルは、**CoroPlus工具ライブラリ**プラグインの情報を提供します。簡易形式の冊子、[CoroPlusリリースノート](#)に代わるものです。

本マニュアルの大部分は、GibbsCAM内のCoroPlus工具ライブラリ(CPTL)の使用について説明します。

CPTLプラグインを使用する前に、GibbsCAMプラグインの基本事項およびMill工具とTurning工具の用語と機能について、理解していただく必要があります。必要に応じて、[Mill](#)ガイド、[Mill](#)と[Turning](#)ガイドの「工具」の章を参照してください。

# CoroPlusの基本

ここでは、Sandvik Coromant社のCoroPlus 工具ライブラリ(CPTL)に関する情報とアカウント設定手順を説明します。CPTL自体のガイドではありません。CPTLの設定や仕様に関するヘルプや詳細情報が必要な場合は、CPTLの代理店に連絡してください。

## Sandvik Coromant社について

Sandvik社は、CAMBRIOの親会社です。Sandvik社のSandvik Machining Solutions (SMS)部がSandvik Coromant社を担当し、同社は、1942年以来、金属切削工具、工具ホルダ、工具アセンブリ、コーティングなどを製造しています。Coromant Captoのモジュラー型クイックチェンジツーリング方式は、ISO規格(13399)となりました。

## CoroPlusについて

2016年以来、CoroPlusは、加工性能の設計、企画、モニタリング、加工プロセスの最適化に使用されてきました。そのソフトウェアは、アドインやプラグインとして、GibbsCAMを含め、数多くの大手のCAMソフトウェアで使用できます。

## CoroPlus工具ライブラリについて

CoroPlus工具ライブラリ(CPTL)では、ツーリングシステムの構成部品をアセンブリに組み立て、GibbsCAMに送ることができます。CPTLは、また、固有の機械や材質パラメータに基づいて、生産効率を最大化するための、回転速度や送り速度を推奨できます。CPTLのGTC (Generic Tool Catalog) パッケージは、デジタル工具データ交換に関するISO 13399規格に準拠しています。

GibbsCAM CPTLプラグインでは、CPTLの工具とアセンブリのカタログから切削工具と関連するデータを簡単に転送できます。プラグインから、Sandvik Coromant社の商品群の切削工具、工具ホルダ、マシンインターフェースの詳細モデルにアクセスできます。

初期リリースでは、GibbsCAM CPTLプラグインは、Mill工具、Turning工具、切削データ(送り速度と回転速度)、アセンブリID(VericutのForceで使用可能)、Millホルダをサポートします。

## 設定

注意:この説明は、すでにCoromantアカウントをお持ちの場合は飛ばしてください。

まず、このリンクを使用してアカウントを登録します。

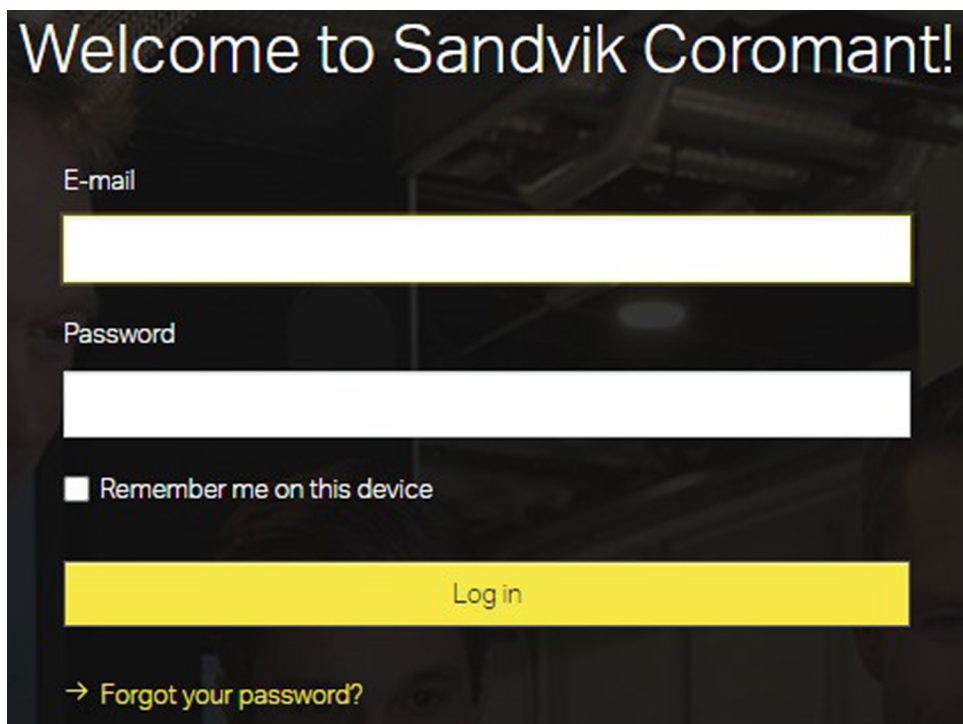
<https://www.sandvik.coromant.com/en-us/tools/digital-machining/coroplus-tool-library>

登録を完了したら、次に進みます。

<https://login.sandvik.coromant.com/Account/Login>

Create accountをクリックします。

GibbsCAMでCPTLを最初に使用するとき、Welcome画面が表示され、資格情報を入力するように促されます。



Welcome to Sandvik Coromant!

E-mail

Password

☐ Remember me on this device

Log in

→ [Forgot your password?](#)

ワークステーションを使用するのが一人だけの場合は、**Remember me on this device**のチェックボックスをチェックしておく、ログイン時の時間を節約できます。

# CPTLプラグインを使用する

ここでは、CoroPlus工具ライブラリ (CPTL)のプラグインを使用するための情報を記載します。詳細は、[基本事項と工具インポーターダイアログ](#)で説明されていますが、ハイレベルな手順は次の通りです。

1. GibbsCAMでは、モデルを開いた状態で、プラグインまたは**工具タイプの選択**のフライアウトを使用して、CoroPlus工具ライブラリインポーターダイアログを開きます。
2. CPTLに工具や工具アセンブリをすでに保存したときは、検索して(検索機能を使用して)選択し、**送信先GibbsCAM**をクリックして、新しい工具がGibbsCAM工具リストに表示されることを確認します。

その他には、

3. 新しい工具やアセンブリを作成するときは、**新規アセンブリ**をクリックします。その後、
  - a. **アセンブリアイテムの選択**ウィンドウで、ウィンドウ左側のツリーを使用して、工具アセンブリに使用する可能性のあるアイテムを表示します。アイテムをクリックして、**アイテム選択**をクリックします。
  - b. **クイックビルド**ウィンドウで、**ワーク階層**ツリーを使用して、必要な工具アセンブリを構成します。
  - c. すべてのアイテムを追加したら、**アセンブリを作成する**をクリックします。少しの処理時間が経過した後、タコメータが工具アセンブリの表示に代わります。
  - d. **保存する**をクリックして、工具アセンブリのGTCパッケージが生成されるまで待ちます。
  - e. **送信先GibbsCAM**をクリックして、新しい工具がGibbsCAM工具リストに表示されることを確認します。

現在のモデルまたは別のGibbsCAMモデルに工具アセンブリの送信を続けるときは、**CoroPlus工具ライブラリインポーターダイアログ**を開いたままにしておいてください。

ここでは、

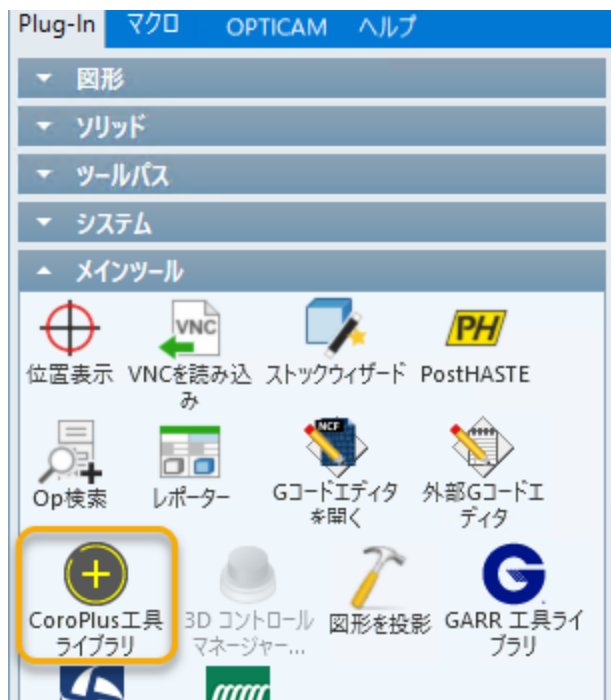
- ・ [「基本事項」6ページ](#)
- ・ [「工具インポーターダイアログ」8ページ](#)

## 基本事項

ご注意:GibbsCAM CoroPlus工具ライブラリインポーターを使用するときは、有効でアクティブなCPTLアカウントと工具データ(工具、ホルダ、切削データなど)をお持ちであることが必要です。

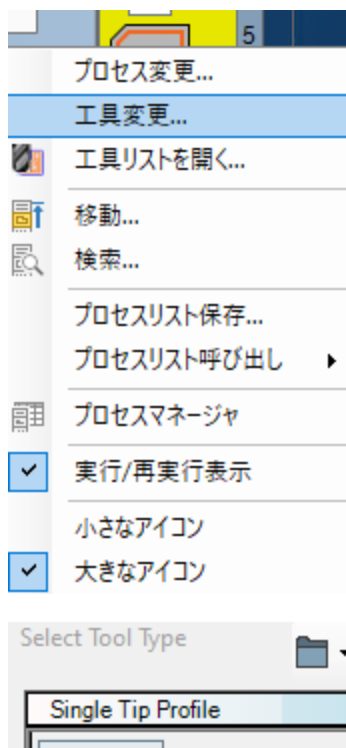
### Plug-InメニューからCPTLを起動する

関連する場所:Plug-Inメニューの**メインツール**の下にある、**CoroPlus工具ライブラリ**をクリックします。



## プロセスのフライアウトからCPTLを起動する

空きプロセススタイルをダブルクリックしてプロセスを選択、または、設定されているプロセススタイルをダブルクリックしてコンテキストメニューの**工具変更**を選択して、**工具タイプ**の**選択**フライアウトを開きます。その後、**工具タイプ**を選択フライアウトで、**CoroPlus 工具ライブラリ**をクリックします。



設定されたプロセススタイルを右クリックして表示されるコンテキストメニュー

工具タイプを選択フライアウト

Coromantアカウントにログインしていないときは、ログインダイアログで資格情報を入力するように促されます。

結果:接続が開始された後、CoroPlus工具ライブラリインポーターダイアログが表示されます。



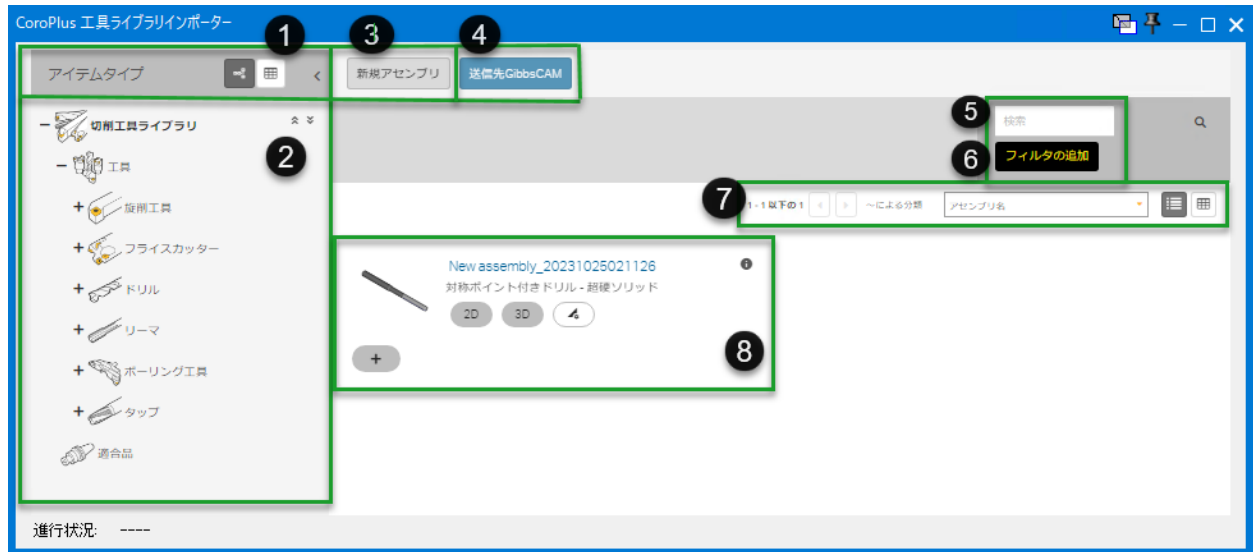
## 工具インポーターダイアログ

GibbsCAMCoroPlus工具ライブラリプラグインのメインインターフェースは、3つのダイアログから構成されます。

- ・ メインの工具ライブラリインポーターダイアログ
- ・ アセンブリの選択ウィンドウ
- ・ 工具ビルド/クイックビルドウィンドウ



## CoroPlus工具ライブラリインポーター:メインダイアログ



### 1. アイテムタイプ

この領域のコントロール項目は、**切削工具ライブラリ**の階層表示をツリービューとグリッドビューに切り替えられます。また、<をクリックすると、**アイテムタイプ**ペインを左側で帯状に折りたたむことができます。

### 2. 切削工具ライブラリの階層表示

この領域のコントロール項目は、ツリーのナビゲーションと候補アイテムの選択に使用されます。

### 3. 新規アセンブリ

このボタンは、**アセンブリ**の選択ウィンドウを開きます。切削工具ライブラリ内のアイテムを絞り込み、検索、参照して、選択を行なえます。

### 4. 送信先GibbsCAM

このボタンが使用可能なときは、有効なGTCパッケージが作成され、保存されています。このボタンをクリックすると、GibbsCAM工具リストに工具を配置します。

### 5. 検索

### 6. フィルタの追加

この領域の3つのコントロール項目では、メインペインに表示された候補アイテムをすばやく絞り込むことができます。検索テキストボックスに文字列を入力するか、パラメータ値のフィルタを追加して、検索アイコンをクリックします。

### 7. メインペインの表示を切り替えるアイコン

この領域のコントロール項目は、メインペインにあるアイテム数を表示し、名前や日付で並べ替えでき、リストビューとグリッドビューを切り替えられます。

### 8. 工具構成部品表示

メインペインの各アイテムには、アセンブリ名、メーカー、分類が表示され、説明も追加できます。また、(切削データ)アイコンから、切削データを表示または指定したり、推奨値を取得できます。

メインペインのアイテムをクリックして開くをクリックすると、工具ビルト/クイックビルドウィンドウが表示されます。

## CoroPlus工具ライブラリインポーター:クイックビルドウィンドウ



1. < このコントロール項目は、ワーク階層ペインを左側で带状に折りたたみます。

2. 保存する このボタンは、現在表示されている工具の変更を保存します。

3. キャンセル このボタンは、変更を保存せずに、工具ビルドウィンドウを終了します。

4. > このコントロール項目は、特性ペインを右側で带状に折りたたみます。

5. 名前/説明/分類 この領域のテキストフィールドには、CPTLが割り当てたアイテムの名前と分類が表示され、必要に応じて説明を追加できます。

6. (表示ペイン) この領域は、選択したアイテムの画像を表示します。プルダウンのコントロール項目では、色の凡例を表示し、基本モデルと詳細3Dモデル、2種類の2Dスケッチを切り替えられます。

## 7. ワーク階層

この領域のコントロール項目は、ツリーのナビゲーションと候補アイテムの選択に使用されます。

## 8. タグ

+ボタンをクリックすると、検索可能なテキストタグを追加できます。